

令和7年度第1回定時理事会議事録

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和7年6月10日（火曜日）
15時00分から16時00分まで
- 2 場 所 東京都スポーツ文化事業団 事務局共用会議室
（日本パーティビル地下1階）
- 3 理事現在数 7名
- 4 定 足 数 4名（理事の過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 7名（理事以外を含む）
理 事 5名
（理事長）塩見清仁
（常務理事）小室明子
（理事）上代圭子（Web出席）、中川冷子、平野裕一
監 事 2名
飯塚幸子、中山正雄
- 6 議 題
 - （1）審議事項
 - 第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について
 - 第2号議案 評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について
 - 第3号議案 評議員の辞任に伴う候補者の推薦について
 - （2）報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について
大会の準備状況について
キャッシュレス募金について
協賛契約の状況について
デフリンピックスクエアの設置及び運営に向けた協力協定について
広報発信に係る事業協力検討協定について

7 議事に至るまでの経過

定刻となり、出席予定者が全員揃ったため、理事会を開会した。議事に入るまで、河野事務局長が進行役を務めた。冒頭、当理事会は東京都スポーツ文化事業団理事会会議規程第7条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告し、定款第32条に基づき理事長が議長を務める旨を説明した。

これを受け、塩見理事長が議長として、開会を宣言した。定款第34条により、議事録署名人は出席した理事長及び監事が務めることを確認し、議事を開始した。

なお、本理事会は Web 会議システムを併用して開催しており、Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時適確な意見交換が互いに出来る状態となっていることを開会前に確認している。

8 議事の経過及び結果

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本件の説明を指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問) 平野理事

野球の指導に関わっているが、中学の部活の実施展開に関するアイデア出しや問い合わせは無かったか。

(回答) 河野事務局長

事業団として関心は持っているが、直接的な関りは無かった。今後は事業団の人材やノウハウを活用いただける機会があれば、他団体等と必要に応じ連携していきたい。

(回答) 塩見理事長

都内の中学校の部活指導に関する課題は地域によって千差万別ある。事業団としては、都立学校活用促進事業で特別支援学校にて事業を行っており、これも地域展開のひとつであると捉えている。これらのノウハウを活用していきたい。

(意見) 中川理事

8月の大雨での浸水被害の際に、東京体育館で社員総会を開催したが、中には入れない社員がいたため、定足数が足りず再調整となった。対策はしていただいたことと思うが、そのような状況があった。

(回答) 河野事務局長

当日は職員総出で侵入した水の排水作業を行ったが、掻き出しても掻き出してもという状況だった。大変ご迷惑をおかけした。その後は、清掃や消毒、侵入経路のコーキング、止水板の更新などを行い、対策を行った。

(3) 決議

第1号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第2号議案 評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本件の説明を指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたが特段の発言はなかった。

(3) 決議

第2号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第3号議案 評議員の辞任に伴う候補者の推薦について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本件の説明を指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたが特段の発言はなかった。

(3) 決議

第3号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

9 報告事項

- (1) 理事長及び常務理事の職務執行状況について
本件について、河野事務局長より報告した。
- (2) 大会の準備状況について
本件について、北島本部長補佐より報告した。
- (3) キャッシュレス募金について
本件について、板倉シニアマネージャーより報告した。
- (4) 協賛契約の状況について
本件について、板倉シニアマネージャーより報告した。
- (5) デフリンピックスクエアの設置及び運営に向けた協力協定について
本件について、北島本部長補佐より報告した。
- (6) 広報発信に係る事業協力検討協定について
本件について、板倉シニアマネージャーより報告した。

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問) 平野理事

マラソンの観戦の仕方に関して何か特別なことはあるか。

(回答) 北島本部長補佐

一般の方にも入っていただけるように調整している。具体的な部分は調整中である。

(質問) 塩見理事長

周辺のビルからも見えるか。

(回答) 北島本部長補佐

交通会館や泰明小学校の屋上などからご覧いただける。地元や地元の企業の方々など、多くの方に応援していただきたい。

(意見) 塩見理事長

よく調整していただき、出来るだけ多くの方に応援いただけるようにしてほしい。

10 その他

議長より意見を求めたが、特段の発言はなかった。

以上をもって理事会の議事を全て終了したため、議長が終了を宣言し、散会した。